

給食だより

新宮町立新宮北小学校
令和6年1月
栄養教諭 永尾 美佐

が っ っ か きゅうしよく き ねん び
1月24日 給食記念日

戦後の学校給食は、昭和21年12月24日にユニセフなどからの食料の寄付によって再開されました。それを記念して、冬休みと重ならないように1ヶ月後の1月24日を給食記念日としています。新宮北小学校では、1月22日～26日を給食感謝週間として取り組んでいます。

食べることは、私達の心と体に力をわきたたせる源です。毎日何気なく食べている給食ですが、その陰には多くの人の働きや力があること、そして食べることの大切さを、この機会に考えてみましょう。

学校給食の歴史



日本の学校給食は、山形県の私立忠愛小学校において貧困の子どもを救うために提供されたことが始まりとされています。学校給食の献立の移りかわりを見てみましょう。

また、お家の人や先生へ、子どもの時にどんな給食を食べていたかたずねてみるのもいいですね。

<p>めいじ ねん 明治22年</p> <p>おにぎり 塩ざけ 菜の漬物</p>	<p>しょうわ ねん 昭和20年</p> <p>ミルク(脱脂粉乳) みそ汁</p>	<p>しょうわ ねん 昭和27年</p> <p>コッペパン ミルク(脱脂粉乳) くじら だつたあ 鯨の竜田揚げ キャベツ ジャム</p>
<p>しょうわ ねん 昭和40年</p> <p>ソフトめんのカレーあんかけ 牛乳 甘酢あえ もも チーズ</p>	<p>しょうわ ねん 昭和52年</p> <p>カレーライス 牛乳 スープ 野菜の塩もみ パナナ</p>	<p>いま きゅうしよく 今の給食</p> <p>地場産物を活用したさまざまな 献立がつけられています。</p>



りょうり おせち料理のいわれ

正月におせち料理を食べましたか？おせち料理はもともと季節(季節の変わり目)に神様に供えるものでしたが、今では正月のみとなりました。

新しい年を祝って食べるおせち料理は大みそかまでに作ります。その多くのおかずは、長く保存しておくことができ、数日間食べ続けられるようになっています。

おせち料理にはそれぞれ意味があり、健康や長寿などの願いが込められています。

かずの子
かずの子は、にしんの卵です。卵が多いことから、子孫繁栄の願いが込められています。

たづくり
たんぼにこいわしの肥料をまいたことから、たづくりと呼ばれ、豊作の願いがあります。

くろまめ 黒豆
まめは、まめに働き(勤勉)、まめに生きる(健康)という願いがあります。

たたきごぼう
ごぼうは、根が地中深くに入ることや豊年や息災の願いが込められています。

こぶ巻き
昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられ、また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。

えび
えびのように、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いが込められています。

きんとん
きんとん(金団)には、財宝などの意味があります。金運への願いが込められています。

だてま 伊達巻き
巻物に似た形から文化、学問、教養を持つことを願ったといわれています。